第14回

千葉県建築文化賞

表彰作品集

2007年

主催：千葉県　共催：社団法人 千葉県建築士会

千葉県建築文化賞について

平成19年度の千葉県建築文化賞に多くの皆様から御応募をいただき、誠にありがとうございました。

千葉県建築文化賞は、優れた建築物を表彰することにより、建築文化や居住環境に対する意識を高め、うるおいとやすらぎに満ちた快適な街づくりを推進することを目的に平成6年度に創設されました。

第14回目となる今年度は、53点の多彩な作品が寄せられましたが、選考委員会の厳正な選考に基づき、建築文化賞3点及び建築文化奨励賞5点を決定いたしました。

授賞作品は、周辺の住宅街と自然環境に調和した景観を実現し、施設全体を通じて一体感・連続性を実現した幼稚園、広大な敷地に立地し、ユニバーサルデザインの視点から安心で安全な住みやすさを追求した集合住宅、自然豊かな工業団地内で円形断面屋根の個性的な外観を示し、環境負荷の低減を実現した事業所など、いずれも平成19年度の千葉県建築文化賞にふさわしい質の高い先導的な建築物です。

関係の皆様の情熱と新しい発想が込められたこれらの建築物は、地域社会の中で親しまれ、より良い街づくりの推進と今後の建築文化の発展に貢献するものと期待しております。

優れた建築物は、美しい街並みを実現するとともに、観光など地域の活性化にも貢献する社会の共有財産です。さらに、高齢化の進展や環境意識の高まりなどから、誰もが利用しやすい建築物、環境への負荷軽減を図った建築物の普及促進が課題となっています。

県といたしましても、こうした認識を踏まえ、誰もが安心して快適に暮らすことができる街づくりを600万県民の皆様とともに推進していきたいと考えています。

結びに、受賞者の皆様の今後ますますの御活躍をお祈り申し上げますとともに、選考委員、共催団体など皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

平成20年3月

目　次

千葉県建築文化賞について …………………… 1
選考経過と総評 …………………………………… 2
四街道さつき幼稚園 ……………………………… 3
エルプレシア ……………………………………… 4
タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター …… 5
Bridge-House ……………………………………… 6
旭ヶ丘母子ホーム・保育園・児童家庭支援センター … 6
海浜動物医療センター ………………… 7
千葉市美浜文化ホール・保健福祉センター … 7
流山の家 ………………………………… 8
千葉県建築文化賞の実績（応募点数・受賞作品数）一覧 ………… 8
応募（推薦）建築物一覧 ……………… 9
千葉県建築文化賞選考委員会 …… 9

応募53点から8点入賞（選考経過と総評）

（選考経過）

千葉県建築文化賞選考委員会委員長　北原　理雄

第14回千葉県建築文化賞は平成19年7月の委員会で募集要領を定め、8月から9月中旬まで応募を受け付け、総数53点の応募をいただいた。（部門別内訳は下表のとおり。）点数は昨年より18点少なく、2年連続の減少となった。しかし、応募作品の水準は高く、住宅作品を中心に佳品が目立った。これらの作品を生みだした関係者の熱意が、千葉県における建築文化をさらに向上させていくことを期待したい。

第1次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに2回の投票を行ったうえで、景観部門5点、ユニバーサルデザイン部門3点、環境部門3点を選んだ。次いで11月上・中旬の3日間をかけ、現地を訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。第2次選考は12月開催の委員会で、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議を重ねながら優秀な建築物を選んだ。

その結果、建築文化賞3点、建築文化奨励賞5点を表彰候補作品として決定した。

募集部門＼選考過程	応募点数	現地調査（第１次選考）	受賞作品選定（第2次選考）	
			建築文化賞	同 奨励賞
景観に配慮した建築物	35	5	1	3
ユニバーサルデザインに配慮した建築物	6	3	1	1
環境に配慮した建築物	12	3	1	1
合　計	53	11	3	5

（総　評）

景観に配慮した建築物

景観部門の選考にあたっては、建築物単体のデザイン水準と、まちの文脈への的確な応答の両者を総合的に評価した。応募35点は、いずれもこの点への配慮を感じさせるものであったが、今回は比較的小規模な建築物に好感の持てる作品が多かった。

建築文化賞の「四街道さつき幼稚園」は、住宅地に立地する幼稚園であり、既存建物を耐震補強した保育室棟と新築の園舎がL字形に園庭を囲む配置をとっている。木造平屋建ての建物は、深緑色を基調にして落ち着いた赤色をアクセント的に使い、周囲の町並みや林と調和した景観を醸しだしている。

奨励賞には次の3点が選ばれた。「Bridge—House（ブリッジハウス）」は、中庭によって2世帯の住スペースを適度に関係づけるとともに、近所づきあいの拠点を提供している点が評価された。「旭ヶ丘母子ホーム・保育園・児童家庭支援センター」は、複数の機能をまとめあげ、隣接する公園と一体化して地域に開かれた施設となっている。「海浜動物医療センター」は、並木道に面するファサードをセットバックさせ、バス停に小広場を提供するなど、周辺景観形成への配慮を感じさせる。

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

この部門への応募は6点であり、昨年より半減した。これらの作品は、ユニバーサルデザインの浸透を実感させるものであったが、それだけに今後はより多くの応募を期待したい。

建築文化賞の「エルプレシア」は、325戸の集合住宅と集会所・立体駐車場を中庭のまわりに配置し、段差の解消、廊下幅員の確保など、バリアフリー化をはかるとともに、雨の日でも濡れずに移動できる、手を触れずにドアを開閉できるなど、安心・簡単・便利に暮らすことのできる心配りがなされている。

奨励賞の「千葉市美浜文化ホール・保健福祉センター」は、異質な機能をシンボリックな建築にまとめあげ、双方のニーズに応えた安全で便利な施設になっている。

環境に配慮した建築物

この部門の応募は12点であり、ここでも住宅を中心に比較的小規模な作品が環境への注意深い配慮を感じさせた。

建築文化賞の「タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター」は、太陽光パネル、屋根排気ファン、トップライト、雨水利用などにより環境負荷の低減をはかり、エントランスホールの天井ルーバーには地元山武杉の間伐材を使用している。円形断面屋根を活かしたデザインの質も高く評価された。

奨励賞の「流山の家」は、コンクリート打ち放しのコートハウスであるが、庇、縁側的スペース、風道など、日本の伝統的パッシブシステムを積極的に取り入れている。

選　考　の　基　準

1. 千葉県内において、平成14年4月1日から平成19年3月31日までに完成（増築、改築、リフォームを含む）し、現在良好に管理され、また、使用されている建築物で、この表彰趣旨に沿っているもの。
2. 機能性やデザインなど総合的にみて優れた建築物であり、次のいずれかに該当するもの。
   ①地域の特性や周辺の環境に十分配慮され、建築物と外部空間が一体となって魅力ある景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
   ②誰もが公平に、安全に、安心して、そして快適に利用できるよう配慮され、社会への参加や日常の生活が容易に出来るような環境整備がされているもの。
   ③エネルギーや資源の高度な有効利用を図ったり、自然を取り入れた建築の工夫や、地域の生態環境や防災に寄与する取り組みなどによって地域環境と親和させるなど、人と環境に対して健康快適な建築環境の向上について配慮されているもの。
3. 建築基準法等の各法令に適合しており、かつ近隣等との紛争が生じていないもの。

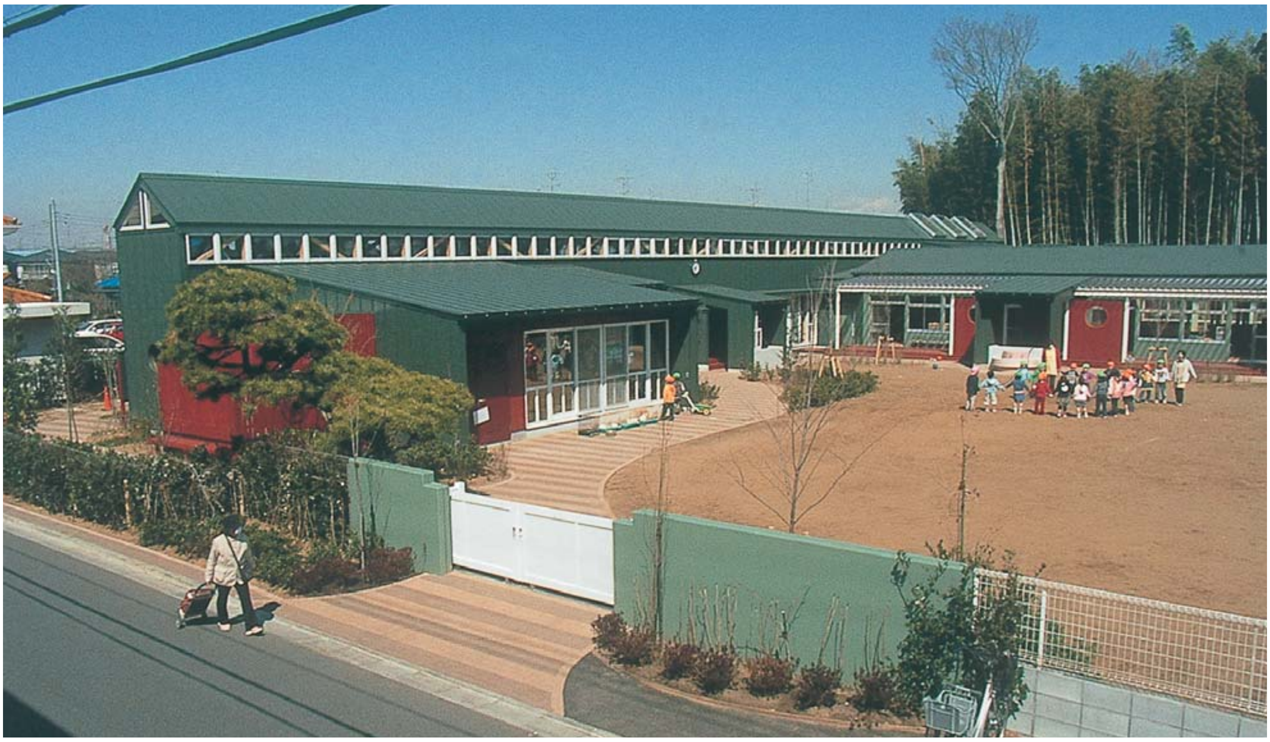
建築文化賞

景観に配慮した建築物

建築主：学校法人下志津学園
設　計：仙田満 ＋ 環境デザイン研究所
施　工：株式会社千葉工業
所在地：四街道市下志津新田2531-9

安全と不思議発見の空間が街の彩りに

四街道さつき幼稚園



周囲をとりまく竹林や植栽の緑に馴染むように緑色を基調とした園舎外観

公共施設は地域のチャームポイントであってほしいと願うが、この幼稚園は耐震補強をかねた増改築の機会を見事に活用して、その期待に応える成果として高い評価を受けた。

戸建て住宅街にあるこの建物は平屋で、前面道路からを入り口とする南北の新築園舎と、街路に面して屋外広場を前面とする東西に伸びた既存保育室で構成され、北側裏地には竹林を配した敷地の好条件も生かされた。

新築園舎は、高い木造の梁架溝と明り取りからの陽光が長い通路のギャラリーを彩って、幼子たちに光の動く不思議空間を楽しませている。

東西に伸びた既存保育室は、鉄骨補強の軒を伸ばして広い通路とし、窓越しの竹林と反対側の屋外広場に視界をつなげ、保育室空間にゆとりの広がりを与えた。東端の屋内遊戯室にも一工夫があって、間口一杯の仕切り戸の開閉でステージが屋内外いずれからも活用できる。

空間の不思議演出は、幼児たちの想像力と冒険を誘う。木材を主とした屋内は、安全は勿論のこと、親近感や開放感に加えて、かくれんぼも楽しめる気配りが嬉しい。

気配りは、さらに地域景観にもおよび、抑制のきいた緑と赤の外観塗装が、この辺りの風景のアクセントとして好感が持てる。建築の塗色はしばしば周辺との調和が問題になるが、こうした好例が地域の景観デザインを先導して欲しいと願う。

（野口瑠璃）

竹林、ふれあいの森（裏庭）が一望できるたけのこホール

庇つきの長いデッキに面した園庭

（撮影/環境デザイン研究所）

建築主：扶桑レクセル株式会社、有楽土地株式会社
設　計：株式会社日建ハウジングシステム
施　工：株式会社間組
所在地：八千代市ゆりのき台3-4-4

建築文化賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

住む人も訪れる人も快適な
「ハートフル・ユニバーサルマンション」

エルプレシア

北側全景

エルプレシアは、区画整理が施され、整然とした美しい街並みが広がる「ゆりのき台」の、緑豊かな敷地に建設された総戸数325戸、地上14階地下1階建ての中高層マンション群である。広大な敷地に、住宅棟4棟、共用棟等3棟が点在する。

エントランスホールを抜けると、それぞれに特徴を持った住戸棟に囲まれて、美しく整備されたガーデン・テラスがひらけ、その先のコミュニティー・ホール（集会室）に続いている。訪れたときには人影がなかったが、住人同志の交流が深まるにつれて、常に賑わいのある多目的交流の場として、有効に活用されることが期待できる空間である。

点在する7棟の施設は、全てが屋根のある回廊で結ばれ、雨に濡れずにどこへでも―（no wet）―移動することが出来る。

最新の解錠システムを取り入れ、全ての扉は自動ドア、何も触れずに―（no touch）―我が家に行くことができる。

共用部、専有部とも安心・簡単・便利に―（no barrier）―細部にわたって心配りされている。

先進的なシステム、機器の導入がややもすると、簡単にわかり易くという考え方に反して、過剰な装備になるのでは、という危惧の声もあったが、住人の将来の生活の変化にも応じられる資産価値の高い住宅の普及に向けての取り組み、セキュリティーも重視した生活サポートのシステム、維持管理体制等の仕組みづくりも含めて、高く評価したい。

建物の性格上致し方ないが、将来にわたり安心して住み続けることができるように配慮された住戸の様子を見ることが出来なかったのが残念であった。　（夏目幸子）

プレシアガーデン

エントランス

（撮影/扶桑レクセル（株））

建築文化賞

環境に配慮した建築物

建築主：タクボエンジニアリング株式会社
設　計：清水建設株式会社一級建築士事務所
施　工：清水建設株式会社千葉支店
所在地：東金市丘山台2-7

先端技術と建築環境との幸運なシナージー

タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター

南側全景

施主である企業の極めてユニークな業態と技術が、この建物の特徴を決定したといってよいだろう。部品等の塗装ロボットの世界的な技術革新をリードし、それによって、私たちの身の回りにある多くの製品の表面の質とイメージが革命的に進化した。そうした企業が、工場+研究所を建てるとどうなるか、その一つの回答がここにある。不整形で斜面が迫る工業団地の一角を敢えて選び、その不利な条件を逆手にとって工場、開発研究所、事務所機能が一体化したコンパクトな延床約4,000㎡、2階建ての建築が生まれたのである。

厳しく見れば、ここに見られる環境に配慮した建築的な要素技術はとりわけ目覚しいとは言えない。垂直面に設置された太陽光発電パネル、屋根排気ファンを利用した自然換気／通風、トップライトによる昼光利用、雨水利用などは既に一般的に普及しているものであり、これらがこの建築の価値を決定付けているとは言いがたい。また、難燃加工を施しロビーの天井材に用いた山武杉の間伐材、屋根の曲面化による建物表面積の縮小、将来のコケによる屋根の全面緑化などの象徴的な取り組みにしても、それらが果たす環境負荷削減効果には疑問符を付けざるを得ない。

それでも、この建築が発する意図や空間の力強さが、工場建築に見られがちな凡庸なローコスト仕様をはるかに凌駕している。発注側の技術と産業文化に資する稀有な思いと戦略が、設計者、施工者に誠実に受け止められた結果であるに違いない。今後の成熟とともにどのような建築環境が育っていくのか、注目に値する作品である。　　　　（岩村和夫）

エントランスホール

全景

（撮影/石黒写真研究所）

建築主：野口 直昭
設　計：小島広行 ＋ デ·ステイル建築研究所
施　工：株式会社巴建設
所在地：成田市

建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

田園風景とモダン建築の課題

Bridge-House

二世代住宅の設計は、親から子への暮らしの主導権の移動が現実になる。空港開港以来、変貌著しい成田ではあるが、まだ十分に田園風景の残るこのあたりの家並みの中に、「コンクリートの打ち放しの無機質な空間」を希望したというこの住宅設計は、あきらかに子世代の強い感覚先行がうかがえる。

両親と成人した子息の空間を中庭で囲んで共有空間とし、さらに2階をブリッジでつなぐなど、住空間の工夫も見られるが、敷地いっぱいに屹立するその外観は、まだ穏やかな集落風景の中では異質感をぬぐえない。

世代交代は個々の住宅の変化ばかりでなく、やがては集落風景も変えてゆくだろう。その過渡期にある地域にあって、このモダン建築は変化を象徴する実験的な役割があると奨励賞の意義を認められた。

伝統に見る坪庭などの中庭は狭小な市街地住宅の知恵であるし、軒高や屋根勾配を揃えるのは近隣との調和をはかってのこと。しかし、この家の中庭は近隣に集いの空間を提供して新しい試みを果たした。

このモダン建築の試みが、この地域の新しい生活と景観をどのように導くか、その行方を見守りたい。（野口瑠璃）

（撮影/デ・ステイル建築研究所）

全景 南側ファサード

中庭夜景 ライトコート

建築主：社会福祉法人千葉ベタニヤホーム
設　計：株式会社藤木隆男建築研究所
施　工：清水建設株式会社千葉支店
所在地：千葉市若葉区

建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

地域における子育て家庭を総合的に支援する複合型施設

旭ヶ丘母子ホーム·保育園·児童家庭支援センター

緑に恵まれた閑静な立地に改築された新しいタイプの児童福祉の拠点施設。高低差のある敷地を巧みに利用して、前面道路に面して中庭を囲んだコの字型の配置計画とし、隣接する公園との一体化を図っている。

低層階に保育部門、2, 3 階の中層階に母子部門及び児童家庭支援センターを設置し、北側の高層階には40世帯の母子生活支援施設が設けられている。

南側道路に面して地域に開かれた交流スペースやイベントホールを配置し、地域住民が自由に利用できるよう専用出入り口が確保されている。

周辺環境に調和した色彩計画や屋上緑化に努め、木質系の多用、庇や縁側などを積極的に採り入れた人に優しい空間構成は、実に快適で心地よい。何よりも子供たちの生き生きとした楽しげな生活ぶりが印象的であった。

外部からの不審侵入者に対するセキュリティー対策においても、カメラや通報装置を駆使して万全を期している。

施主側と設計者が長い時間をかけてソフト、ハード両面にわたって綿密に練り上げたスタディーの結実であり、その完成度の高さに敬意を表したい。

欲を言えば、母子寮高層棟の表情にいま一つ工夫が欲しかったとの意見もあった。（明智克夫）

（撮影/清水建設株式会社）

南東公園側全景

グループホーム型母子室リビング

建築文化奨励賞

景観に配慮した建築物

ペットと人が最高の関係であり続けるために

海浜動物医療センター

建築主：海浜動物医療センター
設　計：株式会社意匠院
施　工：松栄建設株式会社
所在地：千葉市美浜区高洲4丁目1番18号

海浜動物医療センターは、従来の動物病院とはまったく異なった、国際レベルの高度医療体制と国内最大級の規模を擁する進歩的な「総合的な動物医療施設」である。

地上5階建、延床面積1,926.78㎡のこの施設は、前面公園の豊かな緑と並木への配慮から、6mのセットバックをしている。この空間がバス停留所のパティオとなり、同時に抱え込むように湾曲したファサードデザインと相俟って、町並みの中に優しい風情を持ち込み、周辺景観形成に大きく寄与している。

室内は、不安を抱えた飼い主と五感が敏感な大小の動物たちへの配慮、医療センターとしての多種多様な機能（診察・手術・入院・宿泊・教育等）に応えるべく、動線計画、仕上げ材料、空調システム等丁寧に計画されている。

ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部門での審査対象でもあったが、人と動物、更に全年代層への配慮と、限られたスペースの中で苦慮した跡は窺えるが、この部門での受賞には至らなかった。

「ペットと共に暮らす人々が、ペットと最高の関係であり続けるために」。長いこと獣医療に携わってきた院長の篤い思いを実現するために、前例のない施設の実現に向けて、設計者が共に取り組んで得た大きな成果を高く評価し、景観部門での奨励賞とした。（夏目幸子）

（撮影/北谷幸一）

西側アプローチ

西側立面夜景

7

建築文化奨励賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

文化ホールと保健福祉センターの複合施設

千葉市美浜文化ホール・保健福祉センター

建築主：千葉市
設　計：小泉アトリエ・C+A村井建築設計共同企業体
施　工：奥村・旭建設共同企業体
所在地：千葉市美浜区真砂5-15-2

音楽ホールと多目的ホールを建物の両端に配置し、中央部に保健福祉部門と文化ホール諸室を設けた珍しいプランの複合施設である。

二つの異なる機能を共用ゾーンで巧みに分離し融合するという独特の手法で、市民にわかりやすく利用しやすい空間構成を試みている。

東側のオープンスペースに、ガラスと金属パネルで構成された複数の中空ボックスを突出させ、内部のアクティビティが外からも視認できる親近感のもてる表情を醸し出し、都市的な賑わい空間を演出している。

一方、街区に面する西側のファサードは、黒い金属パネルの巨大な壁面で、地域の環境に溶け込むまで暫く時間を要することだろう。

検見川浜駅からの都市軸に対して開いた配置計画とし、隣接公園からの動線も確保するなどして、どこからも気軽にアプローチできる施設としている。

子供たちのために手摺の二段設置や、各階にオストメイト対応の多目的トイレ設備、男性トイレにもベビーベッドを設けるなど、ユニバーサルデザインへの配慮がみられる。

中央と地元設計事務所とのＪＶによるもので、両者の力量が結実した地域の公共施設の好例として高く評価できるものである。（明智克夫）

（撮影/阿野 太一）

東側外観

中ホール
空中にライトチューブが浮かぶ

建築主：K.O.氏
設　計：岡部 亨一
施　工：赤羽建設株式会社
所在地：流山市

建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物

豊かな内部空間と静かな外観を持つ家

流山の家

打ち放しのコンクリートの壁の上部にスリットをとって、浮いたように屋根がのり、要素が丁寧に整理された外観は、落ちついた住宅地の中でも際立って洗練されている。玄関から良く設えられた小さなコートを見ながら、2階に上ると外観から想像したよりずっと明るく、伸びやかな空間がある。コートに面してとられた吹き抜けと反対側の床に穿たれた通気口を通して空気が循環するようなっており、環境的な仕掛けもうまくデザインの中に消化されている。

配置も隣家の日当たりや視線を意識して出来る限りお互いの居住性やプライバシィーを損なわないように配慮されているし、デザインとしての質の高さは十分評価に値するが、その一方で、ファサードが街並みに対して閉鎖的にすぎるのではないかという声もあった。個人や家族の生活を守り、隣家の迷惑にならない、それ以上のことをつい望みたくなるのは、この住宅の設計者の力量に期待するからでもある。実際、実によく手入れの行き届いたコートが外からちらりとでも見えたらいいのにとも思ってしまったのである。

（篠原聡子）

（撮影/岡部 亨一）

道路からの外観

ペリメーターゾーンの吹抜と外部との関係

千葉県建築文化賞の実績（応募点数・受賞作品数）一覧

回数	年度	応募総数	建築文化賞				建築文化奨励賞
			景観に配慮	ユニバーサルデザインに配慮	環境に配慮	計	
1	H6	192	3	3	—	6	—
2	H7	73	3	3	—	6	—
3	H8	83	3	2	—	5	4
4	H9	87	4	1	—	5	5
5	H10	106	2	0	2	4	5
6	H11	101	2	2	2	6	3
7	H12	63	3	1	2	6	4
8	H13	88	2	2	2	6	2
9	H14	71	2	1	2	5	4
10	H15	79	3	2	0	5	4
11	H16	63	1	2	1	4	3
12	H17	92	3	1	2	6	1
13	H18	71	3	0	1	4	4
14	H19	53	1	1	1	3	5
1〜14	計	1,222	35	21	15	71	44

※1「建築文化奨励賞」は、第3回に創設。
※2「環境に配慮した建築物の部」は、第5回に創設。
※3「ユニバーサルデザインに配慮した建築物の部」は、第12回に創設。（第11回までは、「高齢者・障害者等に配慮した建築物の部」）

千葉県建築文化賞は、多くの皆様の協力に支えられ、回を重ねてまいりました。
その間、県下の広い地域にわたり、71の建築物が建築文化賞を受賞され、それぞれの地域に根付いています。
第15回の作品募集は、平成20年夏ころに行う予定です。皆様方の御応募をお待ちしております。

第14回応募（推薦）建築物一覧（地域・市町村別）（44作品）

※ ◎は、表彰の対象となった作品です。
※ ☆は、現地調査の対象となった作品です。
※作品には、部門等に重複して応募したものがあります。

応募された作品は、それぞれ優れた配慮や特徴がありました。
作品に携わられた皆様に敬意を表し、ますますの御活躍を期待しています。

［千葉市］4作品

◎海浜動物医療センター	美 浜 区
ほうゆう学園	花見川区
◎千葉市美浜文化ホール・保健福祉センター	美 浜 区
◎旭ヶ丘母子ホーム・保育園・児童家庭支援センター	若 葉 区

［千葉地域］5作品

習志野市海浜霊園合葬式墓地	習志野市
ほしかわクリニック	習志野市
T邸	市 原 市
レクセルグランデ勝田台	八千代市
◎エルプレシア	八千代市

［東葛飾地域］18作品

OPEN FRONT STYLE	市 川 市
東菅野の家	市 川 市
集合住宅PIODAO	船 橋 市
ストーン ルネッサンス	船 橋 市
北斜面の家	柏 市
A眼科	柏 市
パリ総合美容専門学校柏校	柏 市
三上ビル	柏 市
シマトネリコが出迎える家	柏 市
茂木本家美術館	野 田 市
パレットコート七光台パークサイド	野 田 市
◎流山の家	流 山 市
K邸	浦 安 市
浦安市S邸	浦 安 市
House-MTD	松 戸 市
二十世紀が丘の家	松 戸 市
ALFRENTE（アルフレンテ）	松 戸 市
まるやま保育園	鎌ケ谷市

［印旛地域］6作品

◎Bridge-House	成 田 市
アルファグランデ成田六番街	成 田 市
日本近代文学館成田分館	成 田 市
H邸	印 旛 村
パレットコート千葉ニュータウン中央	印 西 市
◎四街道さつき幼稚園	四街道市

［海匝地域］1作品

島田総合病院	銚 子 市

［長生地域］3作品

五つの屋根の家	睦 沢 町
☆波乗長屋（行灯ハウス）	一 宮 町
茂原神経科病院	茂 原 市

［山武地域］3作品

☆大網白里アリーナ	大網白里町
成東の家	山 武 市
◎タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター	東 金 市

［安房地域］2作品

誕生寺　布教殿堂	鴨 川 市
T社ショールーム館山店	館 山 市

［君津地域］2作品

☆双棟の家	君 津 市
BEACH HOUSE１・２	富 津 市

千葉県建築文化賞選考委員会

委 員 長　北原　理雄：千葉大学大学院教授
副委員長　岩村　和夫：武蔵工業大学環境情報学部教授
委員　明智　克夫：社団法人千葉県建築士会名誉会長
委員　篠原　聡子：日本女子大学家政学部准教授
委員　夏目　幸子：建築家・千葉県医療技術大学校講師
委員　野口　瑠璃：工業・環境デザイナー

【敬称略　委員は五十音順】

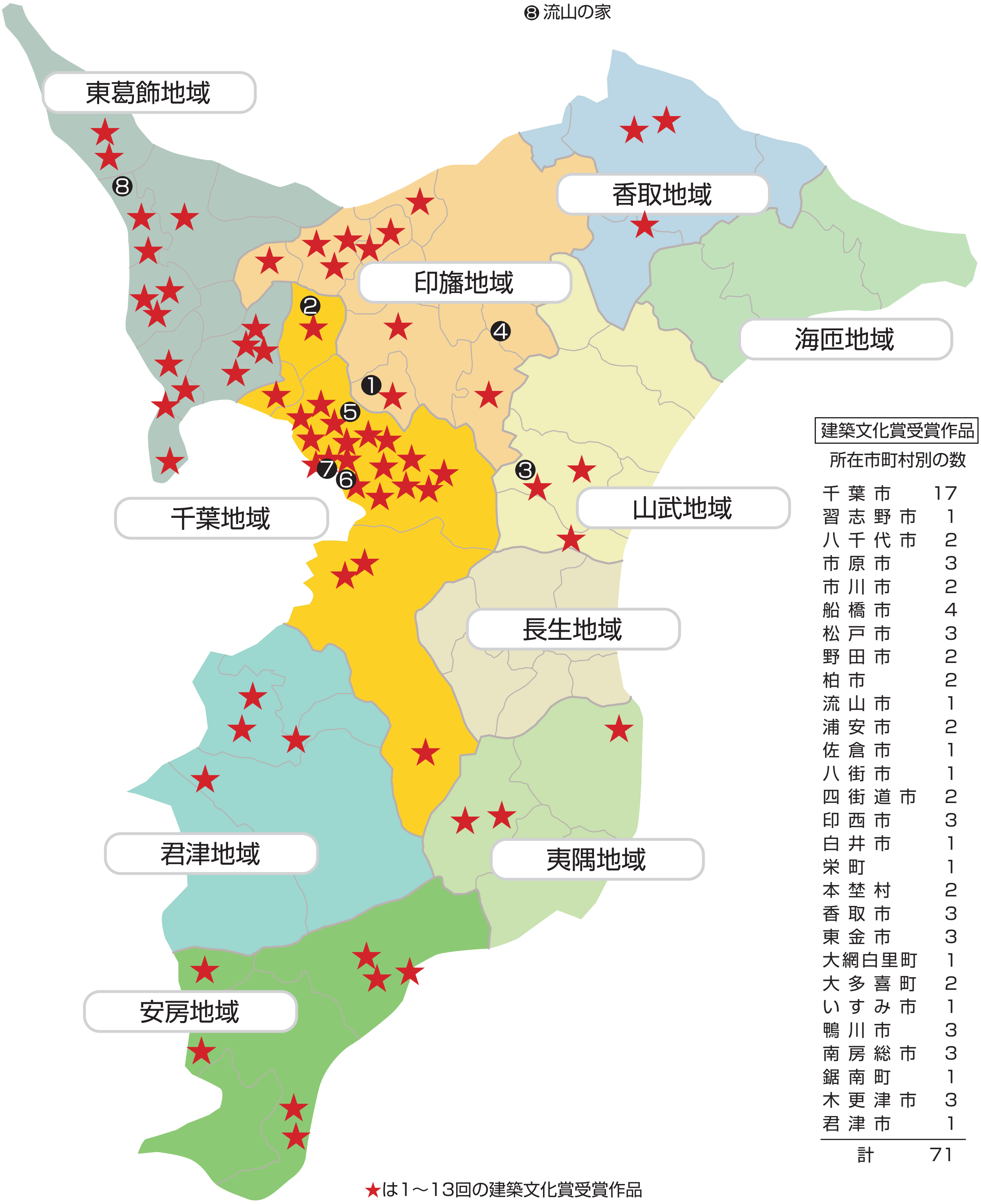
受賞作品の位置

第14回千葉県建築文化賞

❶ 四街道さつき幼稚園
❷ エルプレシア
❸ タクボエンジニアリング 東金テクニカルセンター

第14回千葉県建築文化奨励賞

❹ Bridge-House
❺ 旭ヶ丘母子ホーム・保育園・児童家庭支援センター
❻ 海浜動物医療センター
❼ 千葉市美浜文化ホール・保健福祉センター
❽ 流山の家



★は1～13回の建築文化賞受賞作品

建築文化賞受賞作品

所在市町村別の数

千葉市	17
習志野市	1
八千代市	2
市原市	3
市川市	2
船橋市	4
松戸市	3
野田市	2
柏市	2
流山市	1
浦安市	2
佐倉市	1
八街市	1
四街道市	2
印西市	3
白井市	1
栄町	1
本埜村	2
香取市	3
東金市	3
大網白里町	1
大多喜町	2
いすみ市	1
鴨川市	3
南房総市	3
鋸南町	1
木更津市	3
君津市	1
計	71

お問い合わせ先

千葉県県土整備部建築指導課
〒260-8667　千葉市中央区市場町1-1
TEL.043(223)3181　FAX.043(225)0913

社団法人　千葉県建築士会
〒260-0013　千葉市中央区中央4-8-5
TEL.043(202)2100　FAX.043(202)2101